

会議録（要点記録）

会議名称	令和7年度 第4回小金井市精神保健福祉連絡協議会部会		
開催日時	令和8年1月30日（金）14:00～15:30		
開催場所	オンライン会議		
出席者等	赤濱委員、鈴木（絵）委員、山岡委員、石川委員、鈴木（澄）委員、高橋（杏）委員 事務局：自立生活支援課長、自立生活支援課相談支援係長、相談支援係主任		
傍聴の可否	不可	傍聴者数	—
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 協議会で協議された課題について (2) 事業所近況報告 (3) その他 3 閉会		
会議結果	1 開会 2 議題 (1) 協議会で協議された課題について ○事務局 第2回協議会で意見いただいたものについて、「ヘルパー、福祉分野職員の就労について」「ボランティアについて」「ピアの活用について」に集約した。課題解決のための方策について対応策など具体的な意見等いただきたい。次回の協議会に提案する。 （委員意見） ア ヘルパー、福祉分野職員の就労について ・人材獲得の取り組みについて、自治体が後援、協賛等で福祉の仕事に関する相談会・面接会を行っている。メリットとしては雇用コストの減、現役職員との交流、福祉業界に特化した情報共有の機会の提供。 ・ヘルパー養成研修の終了時に市内事業所について情報提供を行う。 ・業務負担軽減のため、業務のICT化についての支援スキームを構築。ベンダーの比較や機器導入の支援。 ・小金井市社会福祉協議会でやっている精神保健福祉ボランティア養成講座、市主催の精神障害者ホームヘルパーフォローアップ研修との連携。 ・人材獲得に向け市報に大々的に特集を組む。 イ ボランティアについて ・人材確保の一環としてボランティア活動をステップとすることについて、効果が期待できる一方、疾患の特性にきめ細かく対応できるかの検証は必要。		

	<p>ウ ピアの活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター人材の確保について、行政が声掛けを行うのか、事業所利用者等から募集するのか検証が必要。 ・地元の自治体でのピア活動はオンオフの切り替えで混乱し、精神衛生に影響を及ぼす可能性があるため、地元の自治体以外で活動できるような仕組みを作るとよいと思う。 ・地域移行支援関連事業だけでなく、交流室のスタッフなどとしても活動していけるような仕組みが必要。 ・事業化の際は、先行自治体の視察なども行うべき。 <p>(2) 事業所近況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がいの方の問い合わせを適宜受けるが、福祉サービスの利用の可否だけを聞かれてすぐ切電される印象。 ・2月20日に高次脳機能障害支援連絡会を行う。 ・他自治体居住者の地域移行支援の依頼を受けることが多いが、小金井市民の方で手いっぱいのため断っている状況。 ・コミュニティーハウスについて、最近「支援活動をしたい。」との声が多く、多くの方が興味を持っていただいている。 ・2月3日に就労支援（者）連絡会を開催する。 <p>(3) その他</p> <p>○次回の開催について（連絡協議会）</p> <p>日時 令和8年2月19日木曜日 午後2時～</p> <p>場所 市役所第二庁舎801会議室</p> <p>3 閉会</p>
提出資料	<p>資料1 令和7年度 第2回小金井市精神保健福祉連絡協議会 意見 のまとめ</p> <p>資料2 令和7年度 第2回小金井市精神保健福祉連絡協議会 会議 録</p>